



# 小規模農家向け農業機械販売事業準備調査 (BOPビジネス連携促進)

## BOP Business Profile

**国・地域:** ガーナ共和国 南部灌漑地域

**企業:** ヤンマー株式会社  
農機・建機・エンジン・マリン・エネルギー分野を軸に、日本を含め世界各国に製造・販売拠点を設けて営業推進をしている。

**ビジネス概要:** 小規模農家が直接的・間接的に農業機械にアクセスでき、適期作業や収穫後の損失削減が可能となることで、収量の増加と収入の向上を目指す。適切な機材の運転・維持管理とともに栽培技術の普及も行うことで所得安定化を図り、機材の販売側・購入側のリスクを減らす。



## 現地が抱える開発課題

ガーナの小規模農家は農業機械の所有や機械サービスへのアクセスが困難であり、人力に依存した労働集約的な農業が行われている。農業機械へのアクセスが困難な農家は、農繁期の労働力不足、適期作業逸脱による低い農業生産性と収穫後損失の増大といった課題に直面し、貧困による悪循環に陥っている。



## 企業が有するソリューション

途上国での小型農業機械の豊富な製造・販売ノウハウに基づく、高品質・高耐久性の機材の提案力を強みに持つ。また、購買力が十分でない層へのファイナンス支援のノウハウも有しており、国際ネットワークを駆使したコストダウンによる価格競争力、運転・維持管理指導、アフターサービスについても強みを持つ。

## ビジネスを通じた課題解決アプローチ



小規模農家の中でも機材購入が可能な農家層を対象に、ライフサイクルコストで優位性をもつ耕耘機を販売するとともに、機材の購入ができない農家層へは賃耕サービスを提供する仕組みを活用することにより、両層農家の適期作業の促進、及び収穫後損失の減少による収量の増加を図り、農家の収入の向上を目指す。販売事業にあたっては、部品製造の現地化によるコストダウン、及び充実したアフターサービス体制の構築を図るとともに、小規模農家でも農業機械を購入しやすいファイナンススキームの確立を目指す。あわせて、現地NGOとの協力により、栽培および運転・維持管理にかかる技術指導を行うことにより、小規模農家の農業生産及び収入の安定化に寄与する包括的なサポート体制を整える。